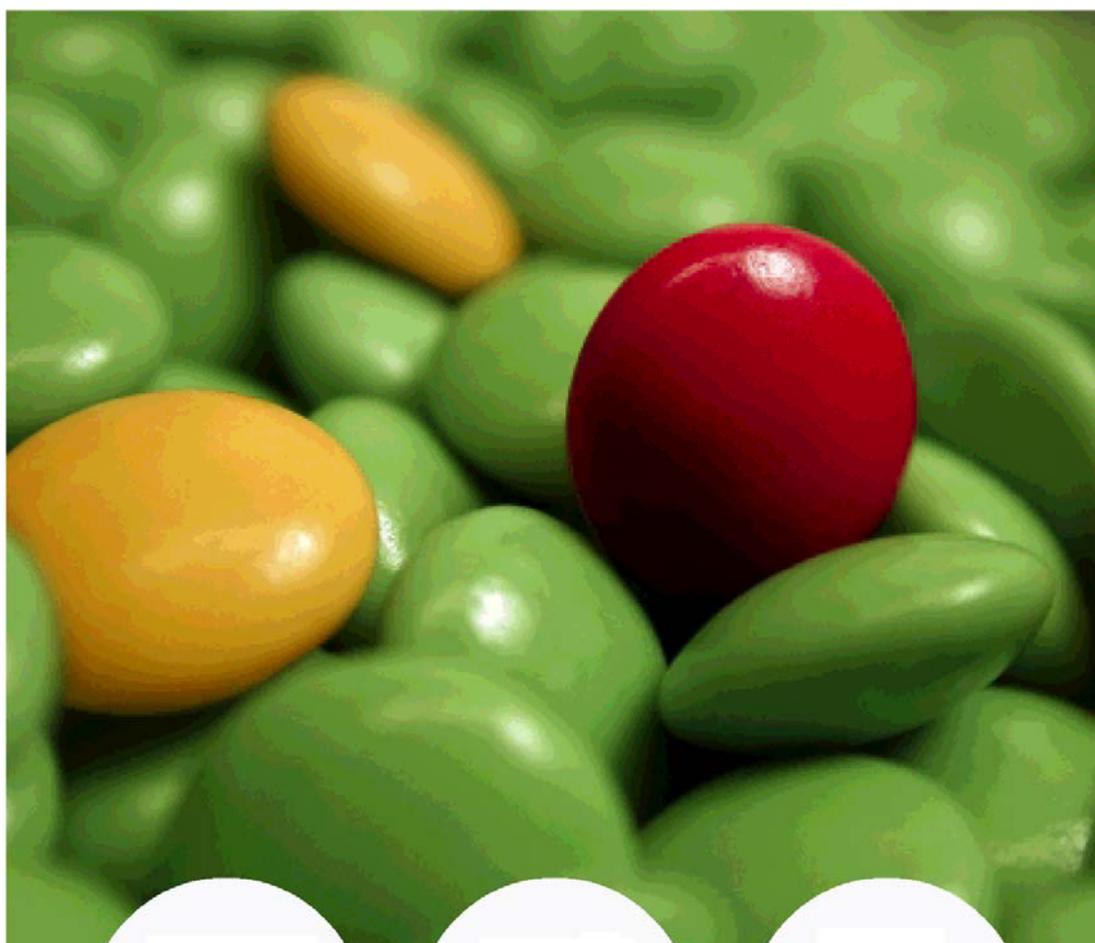




状態評価をより容易に

[いつでも、どんな場合でも]



精密に

効果的に

安全に



正確な測定ポイントへ取付け

[コンタクトフリーの認証タグ]

正確にプログラムされた SPM データロガー計器を使い、特定場所の機械状態を評価します。測定読み取りを行なう前に、測定ポイントの数・名前・入力データ全てをデータロガー計器へダウンロードします。測定ポイント自体をプログラムすることは、より迅速に、より柔軟に対応できる唯一の方法です。

データを取り出しやすく

何か問題が生じた場合、その問題箇所のデータを取り込みます。状態が良くない機械には頻繁な監視が必要となります。Condmaster®Pro からダウンロードするのと同じように、CondID®タグを用いると、測定ポイント1箇所ごとにデータロガー計器をプログラムすることができます。

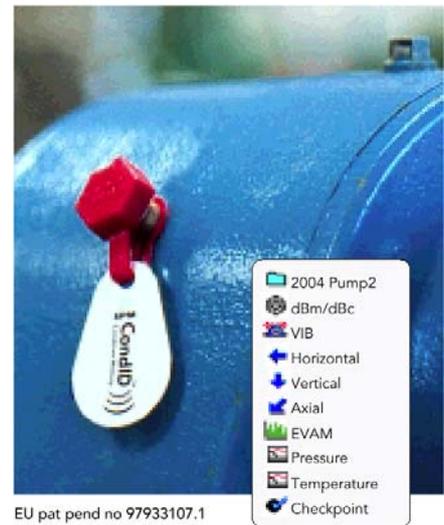
タグを取り付けた測定ポイントは、測定ラウンドの一部として、又、そのポイントの近くにいる時はいつでもチェックすることができます。データロガー計器をタグに近づけて持ち、READ を押せば測定が開始されます。

機械状態にもっと監視の目を

工業メンテナンスの最前線にいるのが状態監視に従事されている方です。彼らの業務をより迅速に、そしてより簡単にすることができます。誰でもデータロガー計器での測定を素早く習得することができ、すぐに機械状態監視を行なう準備が可能となります。

チェックする測定ポイント全てにタグを取りつければ、時間と労力が削減されます。最小限のトレーニングで、データロガー計器と最先端技術の状態監視ソフトウェアを完璧に使用できるようになります。

CondID®には、RF 応答機内蔵の SPM データロガー計器を介してアドレス書き込みを行ないます。タグ自体には電気放出はありません。計器から変調される低周波数で短い範囲の搬送波によりデータ送信を行ないます。読み取り可能な距離は 50mm です。ガラス、木材、プラスチックなど非磁気性の材質ならどんなものでも通りぬけます。



CondID®により Condmaster®Pro からデータロガー計器にダウンロードするデータを同じデータを送信します。メモリーは 116 文字までです。

CondID®は屋内、屋外どちらでも使用できます。完全に安全対策が施されており、SPM 製のデータロガー計器しかアクセスできません。さらに、パスワードで保護されています。

タグは測定ラウンドと合わせて使用することができます。保存されたポイントが最新版となり、測定の準備がなされます。新しいポイント情報はタグを読み取った時点で追加されます。

SPM Instrument Japan 株式会社

大阪： 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-17-21 長堀ビル 4F
TEL 06-6266-1171(代表) FAX 06-6261-3637

東京： 〒105-0021 東京都港区東新橋 2-9-4 ヴィア・パルコ 5F
TEL 03-6403-5875 FAX 03-6403-5975

E-mail: mailbox@spmjapan.jp HP: <http://www.spmjapan.jp>